

3-2 1

男性不況

著者名 長濱利廣 「男と女」から見る、目からウロコの日本論！
増えない給料、晩婚化・少子化、格差拡大…。日本を襲うさまざまな変化の根本は、「労働市場における男性の価値の低下」、すなわち労働不況にあった。

出版社 東洋経済新報社

登録月日 H25.2

登録番号 1352

3-2 2

ダイバーシティの教科書

著者名 前川孝雄、猪俣直紀、大手正志、田岡英明 1億総活躍社会の実現に不可欠なダイバーシティがこの1冊でわかる！
日本型ダイバーシティの推進を掲げる著者が現時点での様々な企業の取組を紹介しつつ、これからダイバーシティを進める企業に様々な示唆を与えるダイバーシティの入門書。

出版社 総合法令出版

登録月日 H28.3

登録番号 1439

3-2 3

チームのことだけ、考えた。

著者名 青野慶久 かつて社員の離職率が28%にまで達するブラック企業だったサイボウズは、どのようにして社員が辞めない「100人100通り」の働き方が出来る会社になったのか？その奮闘のストーリーとともに、サイボウズがたどり着いた「多様性をマネジメントする手法」を詳細にした書籍です。

出版社 ダイヤモンド社 「最長6年間の育児・介護休業」「副業は原則自由」などのユニークな人事制度で知られる会社ですが、その根幹にある精緻な思考と試行錯誤の積み重ねが明かされます。

登録月日 H28.3

登録番号 1443

3-2 4

逃げる勇気

著者名 ソウイチロウ 崇史 仕事は逃げるが勝ち! 無駄を省き、安請け合いせず、できる限り誰かに任せよう。

出版社 新潮社 いつも結果が出ないのは、「上手に逃げられない」から。才能の発揮を邪魔する、終わりの見えない残業、やっかいな頼みごと、一人で抱えてしまうタスク。そこから逃げられない原因の解消法から、理不尽な依頼の断り方、面倒な作業を押しつける技術まで。ビジネスパーソン必読、あなたの重荷を軽くして成功へと導く最高の仕事術。

登録月日 H28.3

登録番号 1444

3-2 5

男がつらいよ

著者名 田中俊之

寄贈 男たるもの正社員として働き、結婚して、子どもをもち、さらにはイクメンになることが求められており、男性の役割・プレッシャーが大きくなっている。男性学という今注目分野でトップを走る著者が現実を切っていく。

出版社 KADOKAWA

登録月日 H28.3

登録番号 1448

3-2 6

ダイバーシティマネジメントの実践

著者名 東京都社会保健
労務士会

寄贈

出版社 労働新聞社

登録月日 H28.3

登録番号 1460

3-2 7

男性漂流

著者名 奥田祥子

寄贈 語られざる男性たちの苦悩を描いて、ベストセラーになった『男はつらいらしい』（新潮新書）。男たちはさらに歳を重ね、結婚、育児、介護、自らの老い、そして仕事に葛藤していた――。

出版社 講談社

登録月日 H28.3

登録番号 1462

3-2 8

18時に帰る

著者名 秋山 開

「世界一子どもが幸せな国」オランダの家族から学ぶ幸せになる働き方

出版社 プレジデント社

30年前迄のオランダは、“男性が働き、女性が家庭を守る。経済が低迷し将来への不安が募り出生率が下がる”など、日本と同じような課題を抱えていましたが……。『18時に帰る』という社会全体の合意がある国、オランダが選んだ働き方とは？

登録月日 H29.11

登録番号 1527

3-2 9

お先に失礼します!

著者名 中村 一 **仕事以外にも“大事にしたい時間”があるあなたへ**
出版社 KADOKAWA 残業をしない。休みをとる。ただ、それだけのことが、なぜこんなにも難しいのだろうか? IT企業で7年間の原則定時退社を続け、半年間の育休を取得した3児のパパがたどり着いた残業しない働き方とは。
登録月日 H30.3
登録番号 1535

3-2 10

ワーク・ライフ・バランスと経営学

著者名 平澤克彦・中村 艶子 **男女共同参画に向けた人間的な働き方改革**
出版社 ミネルヴァ書房 ひととしての生活向上のために、日本は今、働き方改革や女性活躍、男性の育児参加など、多くの課題に挑戦している。各国施策の特徴と日本の実態を捉え直し、働きやすい職場環境とは何かを探る。
登録月日 H30.3
登録番号 1536

3-2 11

小さな企業が生き残る

著者名 金谷 勉 **小さな会社でも“強み”は必ずある! 下請けのピンチを切り抜け**
出版社 日経BP社 優れた技術を持ちながら、メーカーの海外移転や後継者不足などの影響で危機に瀕している中小企業は少なくない。苦境に陥った中小企業を再生させてきたデザイン会社社長が“生き残り”ノウハウを伝授する。
登録月日 H30.3
登録番号 1537

3-2 12

愛される男の自分革命

著者名 ドラ・トーザン **パリジェンヌがそっと教えるあなたの磨き方**
出版社 徳間書店 愛される男になるための、「3大自分革命」を基本軸に、ユーモアを交え楽しく、ときに辛口に、ニッポンの男性が現在抱えている諸問題解決への具体的事例や体験エピソードも多彩に交えながら、人生の極意をアドバイスします。
登録月日 H30.3
登録番号 1544

3-2 13

イクボスの教科書

著者名 日経DUAL **時短・介護社員を生せば、チームがうまく回りだす！管理職のための「働き方改革」の虎の巻**

出版社 日経BP社 働き方改革を推進する企業にとって、長時間残業削減・子育て社員の両立・父親の育休推進・女性活躍・介護と仕事の両立など、取り組まなければならない課題は多い。管理職や経営者が読むべき「ダイバーシティ時代のマネージメント教科書」の決定版。

登録月日 H30.8

登録番号 1546

3-2 14

とまどう男たち 生き方編

著者名 伊藤公雄・山中浩司 男子として生まれた不幸はある。男は何に気付いたら良いのか。死に方編（同時刊行）とともに、気付きの男性学を示す。

出版社 大阪大学出版 「男」は病気か？ 息子に「お前は幸せかい？」と尋ねる親はどれくらいいるだろうか。男子として生まれた不幸はある。男は戦闘的である必要が減り、Y染色体は短縮され、容貌は美しくなり、女性も社会で活躍するようになってきた。しかし、男は若いうちから徐々に孤立し、女よりも腹の脂肪が増え、自殺率が増えているのだ。高度経済成長時代から時代が変わり、とまどう男たちに何が起きているのか。

登録月日 H31.2

登録番号 1554

3-2 15

残業学

著者名 中原淳 超高齢化社会を迎え、あらゆる仕組みをアップデートする必要に迫られている日本。女性やシニア、外国人をはじめとした多様な人々の力が鍵となる中、それを拒む最大の障壁が、日本独特の働き方「残業」です。政府も企業も「働き方改革」を叫ぶ今、本当に必要なのはそれぞれの「持論」ではなく、客観的なデータを基にした「ガチ」な対話。

出版社 光文社 一体なぜ、日本人は長時間労働をしているのか？歴史、習慣、システム、働く人の思い—2万人を超える調査データを分析し、あらゆる角度から徹底的に残業の実態を解明。仕事と人生の「希望」は、ここから始まります。

登録月日 H31.3

登録番号 1557

3-2 16

男性の育休 家族・企業・経済はこう変わる

著者名 小室淑江 **広がりを見せる男性育休。**

出版社 PHP研究所 義務化議論も進む中、なぜ必要なのか、課題はどこにあるのかななどを、豊富なデータや具体例とともに解説する。

登録月日 R3.3 男性育休は皆が幸せになる社会への第一歩
日本企業の活性剤になる

登録番号 1589

3-2 17

あなたの会社、その働き方は幸せですか？

著者名 出口治明、上野 働く人が自由になる社会を本気で考える。
千鶴子

出版社 祥伝社 性別フリー、年齢フリー、国籍フリーで働くのが、ホモ・サピエンス本来の在り方であり、これからの社会が目指すべき働き方。個人差は性差や年齢差をやすやすと超える。人間は一人ひとり顔かたちが違うように、「みんな違って当たり前」なのです。

登録月日 R3.8

登録番号 1592

3-2 18

こうして社員は、やる気を失っていく

著者名 有田みかん モチベーションは「下げる要因」を取り除けば、自然と上がる！

出版社 はちみつコミックエッセイ 「社員がやる気をなくす」には共通パターンがある。モチベーションを下げる要因の取り除き方を改善策とともに解説。 疲弊する組織、離職率の高い会社に共通する”あるある”を反面教師として、改善策を心理的アプローチとともに解説。

登録月日 R4.12

登録番号 1611